

終活劇 「おばあちゃんの話」 について

終活劇「おばあちゃんの話」は2019年11月に神栖市かみす防災アリーナで開催された『終活フェス』で初演されました。この演劇がどのように生まれたのか、どのように現在に至っているのかについて解説します。

【1】はじまり

2019（平成31／令和元）年5月か6月ごろのこと。「終活をテーマにした演劇をやってくれないか」という話をいただいたのがはじまりです。最初は私自身が終活についてほとんど何も知らず、「いったいなんのことやら」という印象だったのを覚えています。

やがて話はトントン拍子に進み、その年の夏休みには**細井崇弘医師**がわざわざ本校にお越しになり、部員に「終活」に関する講義をしてくださいました。そうして台本作成に入ったのです。当時、高校生部員は一人しかおらず、台本作成は当時の中学3年生を中心に進められました。その中心になり、台本作成を担当したのが43期生**出頭あかりさん**。夏休み明けには再び細井医師が来校され、台本と演技について監修を受けました。そうして出来上がった台本が『（終活劇）おばあちゃんの話』です。



【2】初演

初演は2019年11月30日（土）。真新しい「かみす防災アリーナ（のホール）」で開催された「終活フェス」でした。公演は好評で、細井医師は翌年以降の開催を語っていました。

☆かみす防災アリーナ（施設紹介に「ホール」があります）

<https://www.kamisu-arena.com/facility/>

【3】コロナ禍

2019年暮れから話題になっていた新型コロナは、年明けて2020年には世界的流行になりました。春には全国休校になったことは記憶に新しい所です。当然、「終活フェス」の話はなくなったものと思っていました。

ところが細井医師を始めとする関係者の皆さんの熱意と努力により「終活フェス」はオンライン開催の形で続きました。『おばあちゃんの話』は映像化してオンライン配信で実施しました。2020年には再度プロの撮影によって映像化。このときは朝日新聞茨城版で紹介されました。

☆朝日新聞 2022 年 3 月 22 日付記事（デジタル版）※全体は有料記事です。

https://digital.asahi.com/articles/ASQ3P73FMQ35UJHB006.html?iref=pc_ss_date_article

またこの取り組みは細井医師らによって学会発表も行われました。

【４】コロナ後

コロナが明けた後、終活劇『おばあちゃんの話』の上演はありませんでした。ところが 2025 年になって NPO 法人「楽膳倶楽部」という団体から「終活劇について知りたい」という連絡があったのです。

聞いてみると、「楽膳倶楽部」は練馬区で主に活動している団体で、毎年秋に開催している「終活」に関する催事で、この劇を上演できないだろうか——というのです。どこで『おばあちゃんの話』を知ったのかと聞くと、インターネットとのこと。現代ならではの展開に驚くばかりです。

こうした地域を越えての「社会貢献」はきわめて貴重な経験だと考え、学校内の「偉い人」にもお伺いをたてて引き受けたのでした。

2019 年 11 月の初演から、6 年目。こうして終活劇『おばあちゃんの話』は鹿嶋から 100 キロメートルの彼方、東京都練馬区へと飛び出したのでした。

☆NPO 法人『楽膳倶楽部』についてはこちら。

実際の活動の内容、様子がよくわかります。活発な活動をされています。

<https://www.rakuzenkurabu.jp/>

☆終活フェスタ会場 ココネリホールについて

第 5 回終活フェスタが開催された会場です。素敵な建物でした。それにしても区立文化センターの立派な建物の隣にこんな素晴らしい施設があるなんて、驚くばかりです。さすが東京は違います。

<https://www.nerima-idc.or.jp/plaza/coconeri/>

<https://www.coconeri.jp/>

【５】これまでの経過について

○筑波大学付属病院総合診療科の**阪本直人先生**が、終活劇『おばあちゃんの話』

について清真学園演劇部と筑波大学附属病院つくば総診かみすチームとの協働の歴史をまとめてくださっています。下記アドレスを参照してください。

<https://soshin.pcmcd-tsukuba.jp/wp/?s=%E7%B5%82%E6%B4%BB>

6 年にわたる、奇跡のような物語の足跡が丁寧にまとめられています。

○この活動は、細井医師により第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会にて活動報告が行われました。

ACP の普及啓発活動の中・高校生演劇部と協働開催した経験～中・高校生らによる学会発表～(細井 崇弘, 出頭 あかり, 中原 かえで, 阪本 直人)

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jpca2020/subject/PPP-141/classlist>

※中原かえでさんは清真学園演劇部第10代部長。出頭さんと同期の部員です。

【6】終活について

厚生労働省のホームページに『「人生会議」してみませんか』という、“終活”に関する特集ページがあります。ご参考までに。内容はかなり充実しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html

「人生会議(ACP)」とは

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/about/index.html>

【7】清真学園演劇部について

清真学園演劇部は、2002年に成立した演劇同好会が前身となっています。活動が本格的になったのは2010年前後です。2011(平成23)年に初めて地区大会に参加。初参加で地区大会、県大会を突破し、関東大会出場を果たしました。2012年に高校が、2013年に中学が部に昇格。以後、精力的に活動を続けています。

県大会出場 10回 (2011、2014～2021、2024)

関東大会出場 4回 (2011、2015～2016、2024)

関東大会優秀賞 1回(2024)

関東高校演劇サマーフェスティバル 1回(2022)

全国大会 生徒講評部門選出 2回(2013～2014)

2025(令和7)年10月現在、中高合わせて19名(休部中、高3除く)で活動しています。

令和7年度 清真学園演劇部 []は休部中

中1 岩瀬 心優・鬼澤 由衣・片岡 実乃莉・山野 秋華・下谷 歌音・小松崎 結宇

中2 小沼 礼旺(中学副部長)・笠原 柚

中3 原 望海・柳町 光里(中学部長)

高1 金島 愛莉・前田 悠希・マルチネス 柚季・[久保田 暖乃]・高橋 結子(高校副部長)・新川 瑠菜・高品 美乃・[伊藤 陽彩]

高2 高崎 恵夢・秋永 珠希・原口 明音(第14代部長)

高3 大輪 奏空・内野 葉音・高根 万季・仲澤 舞羽・佐々木 桃香

顧問—中島敬介 コーチ—西山由紀 終身名誉コーチ—萩原 辰郎(照明)